

(財)滋賀県環境事業公社 中期経営計画の概要

【計画の目的】

「クリーンセンター滋賀」の運営を主とする財団経営について、平成24年度から平成28年度までの5年間を対象とした中期的な経営改善計画を策定し、これに掲げる目標を達成することで、安全・安心を第一にした適切な施設の運営管理に努めながら、公社の自律的・安定的な経営基盤を確立して行く。

【計画の基本方針】

- ① 年度経常収支の黒字確保とその安定化
- ② 全体収支の改善、ならびに廃棄物の安定的な受入継続に不可欠な第Ⅱ期工事の早期実施と供用
- ③ 運営面における一層の「安全・安心」の確保

目指すべき姿

【計画に掲げる目標】

平成24年度目標	○ 新公益法人制度への円滑な移行 →公益財団法人への移行を目指す
	○ センター埋立容量の緊急的な確保 →第Ⅱ期工事(緊急拡張対応)の早期完工
平成25年度目標	○ センター埋立容量の更なる確保 →第Ⅱ期工事(本格工事)の完工・供用開始
平成26年度目標	○ 年度経常収支の黒字化の確立 →事業収入4.5億以上、事業支出2.7億以下とする収支フレームの確保
平成28年度目標	○ 安定的な経営基盤の確保 →自己資本比率50%の確保
	○ 次期経営計画の策定

具体策

【具体的施策の展開】

- ① 年度経常収支の黒字化へ向けて
  - (1) 受入廃棄物の更なる物量確保へ向けて
    - ア) 市場動向を勘案した料金体系の抜本的見直し
    - イ) 公共工事由来の廃棄物の受入拡大
    - ウ) 業界団体を通じた関係事業者との連携強化
  - (2) 顧客満足度の向上へ向けて
    - ア) 事業者の経営努力を反映したインセンティブ料金の導入  
(物量重視から環境貢献やコンプライアンス面での取組を評価へ転換)
    - イ) 事業者ニーズの営業への反映  
→搬入集中時の営業時間の拡大や契約手続きの迅速化など
  - (3) より一層の経費削減
    - ア) 経常経費(ランニングコスト)の削減  
→委託業務の複数年契約や単価契約の導入等契約方法の改善
    - イ) 施設維持管理コストの削減  
→ストックマネジメント手法の導入検討、主要設備修繕計画の策定
    - ウ) 一般管理費(人件費含)の削減  
→職員雇用形態の弾力的運用、民間知見の活用
  - (4) 地域振興費の精査・見直し  
→既存協定を遵守しつつ、関係者との協議を深める
- ② 第Ⅱ期工事の早期実施・供用へ向けて  
→国・県の補助制度を最大限活用し、借入金に依存しない形での早期実施へ向け、24・25年度に2段階に分割して工事を実施
- ③ 「安全・安心」の確保へ向けて  
→これまでの経験と反省を踏まえ、業務マニュアルの改善を行うとともに、役職員や関係事業者に対する研修・啓発を強化

【実効性の確保へ向けて】

- 1 民間有識者の経営参画による知見の活用、ならびにチェック体制の確保
- 2 県も連携した厳格な進行管理の実施